

ゆずりは通信

第2号 平成20年9月1日(隔月発行)
発行：ゆずりはの会事務局
電話：0565-35-7182
Eメール：takekaki@hm8.aitai.ne.jp
ホームページ：
<http://www.hm9.aitai.ne.jp/~warabino/>

暑い夏が、いつまで続くのか、と悲壮な気持ちで過ごしていましたが、お盆を過ぎたころから、やわらいだようで、ほっとしました。一方でゲリラ豪雨など異常な気象が、私たちに覚悟をせまっているように思います。

次回勉強会案内

第3回勉強会

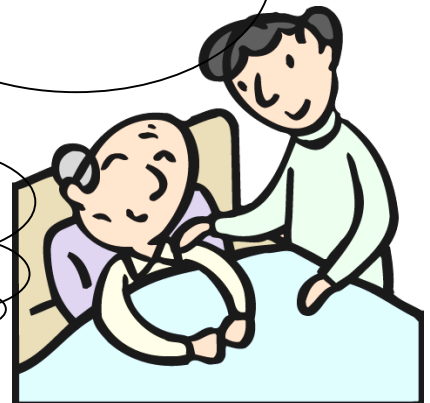
月日 : 9月29日(月) 午後6時半～8時半
場所 : とよた市民活動センター 会議室【松坂屋上階9階】
(講義室レイアウトで40人の定員)
講師 : 豊田厚生病院：緩和ケア病棟担当の西村大作先生
テーマ : 緩和ケアとは

今回は、30～40人の参加者を予定しています。先生のお話を聞くことはもちろんですが、日頃思っていたこと、お話を聞いて疑問に思ったことを、勇気を出さなくても質問できる雰囲気で行いたいと思います。

これを機会に、勉強したい人は、

『あなたともっと話したかった』 柏木哲夫著 日経ビジネス人文庫
という本を読みましょう。会に4冊あって会員の間を回っています。豊田市図書館にも1冊あります。

またお忙しいので、西村先生が遅く到着される場合もありますが、会としての連絡事項などを、お伝えしたいと思っています。



豊田市の共働事業提案制度に応募しました！！

共働事業提案制度とは、行政が市民活動団体と協力・連携して取り組みたいと考えるテーマに対する市民活動団体からの事業提案を、評価および協議・調整を経て事業化するというものです。

ゆずりはの会は、市役所の高齢福祉課が提案した「高齢者を地域で支えるネットワークを作ろう」に関係するテーマに企画を提案しました。

ゆずりはの会としては、下記の2つのテーマに応募しようとしていましたが、

① 豊田市の介護施設・サービスガイドマップの作成

1枚のマップを作り、自分が探している福祉施設やサービスに、容易にたどりつけるようにしようとする提案です。

② 福祉施設・サービスの目標規模設定スタディ

長岡市のこぶし園に触発されました。豊田市でも、将来、どのような種類の福祉施設・サービスが整備されるべきなのか、市民の立場からの視点も入れて目標を設定しようというものです。

しかし、会の連絡委員の方と相談して、第3のテーマ

③ 高齢福祉の実情を現場の声から学ぶ市民講座

福祉事業者、ケアマネジャーなど、現場で活躍している方の声をお聞きして、実情を、正しく学ぼうという内容です。

を提案しました。8月24日に、公開プレゼンテーション行い、採用されました。

今、高齢福祉課との話し合いを進めています。豊田市の福祉を良くしたいという目標は共通でも、通ってゆく道は色々あるので、突っ込んだ話し合いが必要だと思っています。

施設訪問

施設長の峯山豊さんのご快諾を受けて、9月5日（金）に、施設の見学とお話を聞く機会を得ました。会員では、長坂洵二と竹内一良が訪れました。

80名の特別養護老人ホームと6人のグループホームを見せていただきました。新型の特養ということだそうで、全員個室です、普通の家に近い雰囲気になるように計画されたなと思いました。今150人の待機者リストがあるそうです。詳細は、何かの機会に説明したいと思います。参考までに、小原安立のホームページは以下です。写真はお借りしました。

<http://www.syoutokukai.or.jp/obara/>

社会福祉法人 昭徳会

小原安立

